

詳しく
知りたい!

バリュー株とグロース株

最近よく聞くようになった「バリュー株」と「グロース株」。

米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げなどの影響もあり、「バリュー株が優位に」、「グロース株に逆風」などの表現を見る機会も増えているのではないのでしょうか。

「バリュー株ってそもそも何?」「グロース株は金利上昇局面だと売られるってどういうこと?」

そんなバリュー株とグロース株について、確認していききたいと思います。

バリュー株とは? グロース株とは?



バリュー株・・・本質的な企業価値と比べて株価が割安な銘柄

- ▶ 「バリュー株（割安株）」とは、本来の企業価値よりも株価純資産倍率（PBR^{*1}）や株価収益率（PER^{*2}）などが低く、割安と考えられる銘柄を指します。伝統的で成熟した企業や業種が多く含まれています。

グロース株・・・売上や利益の成長率が高く、将来の成長が期待される銘柄

- ▶ 「グロース株（成長株）」とは、1株当たり純利益（EPS^{*3}）の成長率が高いなど、将来の成長が期待できる銘柄を指します。将来性や成長性への評価が高いことから、PERやPBRは市場平均よりも高い傾向にあります。

バリュー株の代表業種

素材関連 金融関連
インフラ関連 など

グロース株の代表業種

IT関連 医療関連
ハイテク関連 など

バリュー株の代表例

銘柄名	実績 PBR (倍)	今期予想 PER (倍)
三菱商事	0.8	5.5
伊藤忠商事	1.2	7.4
三菱UFGフィナンシャル・グループ	0.7	10.9
三井住友フィナンシャルグループ	0.6	9.4

グロース株の代表例

銘柄名	実績 PBR (倍)	今期予想 PER (倍)
ファーストリテイリング	4.9	32.9
メルカリ	11.1	100.6
エムスリー	8.6	46.8
東京エレクトロン	4.6	16.7

(ご参考)

	実績 PBR (倍)	実績 PER (倍)
日経平均株価	1.5	17.7
東証株価指数 (TOPIX)	1.1	13.3

※2023年1月20日現在。日経平均株価、TOPIXについては、2022年12月30日現在。

出所：ブルームバーグのデータをもとにちばぎんアセットマネジメント作成

※上記はイメージまたは一例であり、すべてを説明したものではありません。

※上記は個別銘柄の売買を推奨するものではありません。

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果などを示唆、保証するものではありません。

金利が上昇するとどちらが優位？

金利上昇局面はバリュー株に追い風、金利低下局面はグロース株に追い風

- 金利上昇局面は景気回復への期待の表れでもあることから、景気に敏感な業種が多いバリュー株にとってプラス材料となる傾向があります。一方、金利低下局面では、景気動向に左右されにくい業種が多く含まれるグロース株にとってプラス材料となる傾向があります。（図表1参照）



金利上昇局面がグロース株に逆風なのはなぜ？

グロース株は一般的にPERが高く、逆数である株式益利回り*4が低い傾向にあります。金利上昇局面では、PERが高い株は金利と比較した株式益利回りの相対的な低さから投資魅力が低下するため、逆風となる傾向にあります。

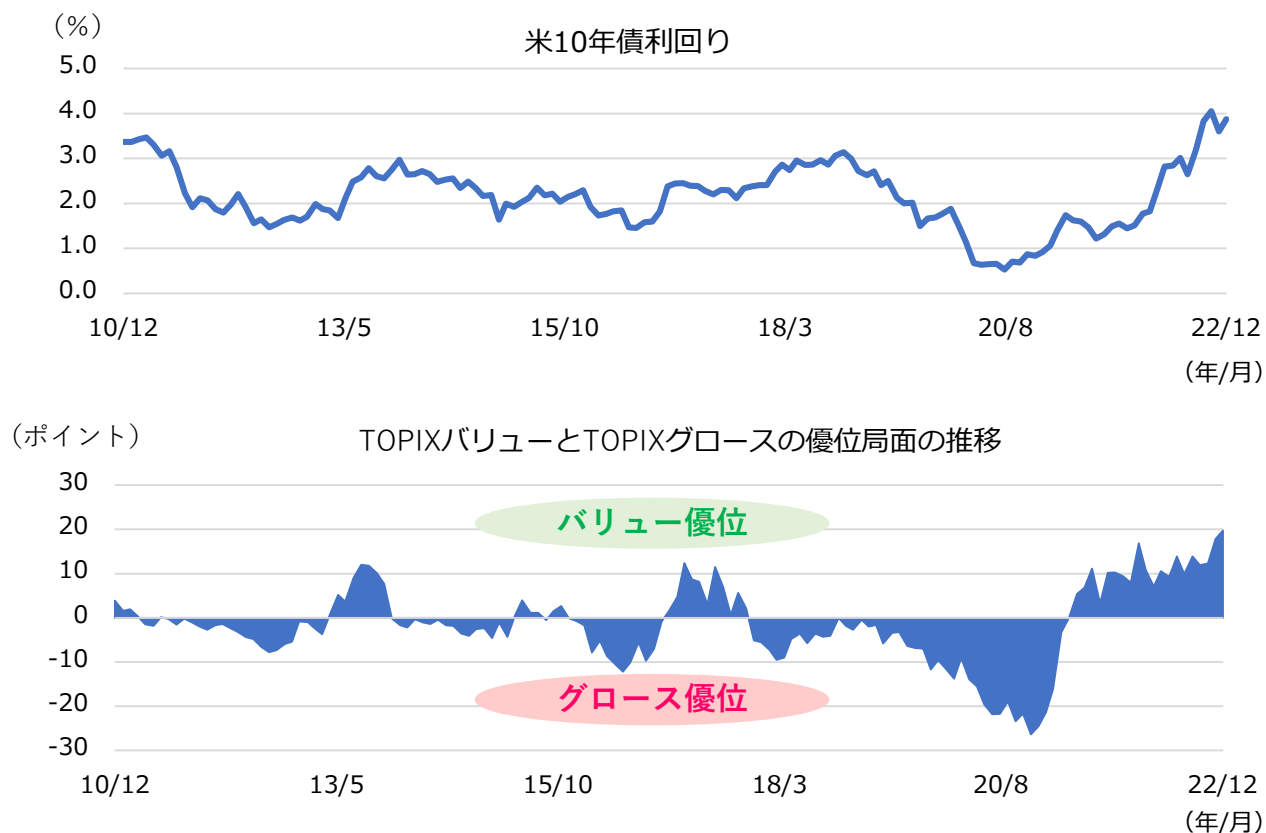
例) A株：株価1,000円、PER10倍⇒株式益利回り10%

B株：株価1,000円、PER20倍⇒株式益利回り5%

⇒PERの高いB株は、株式益利回りが低いため、金利が上昇すると、金利水準に対する投資魅力度が相対的に低下し、売られやすくなる。

(図表1) 米10年債利回り、TOPIXバリューとTOPIXグロースの優位局面の推移

(期間：2010年12月30日～2022年12月30日、月次)



※TOPIXバリュー、TOPIXグロースの1年リターンを月次で算出。

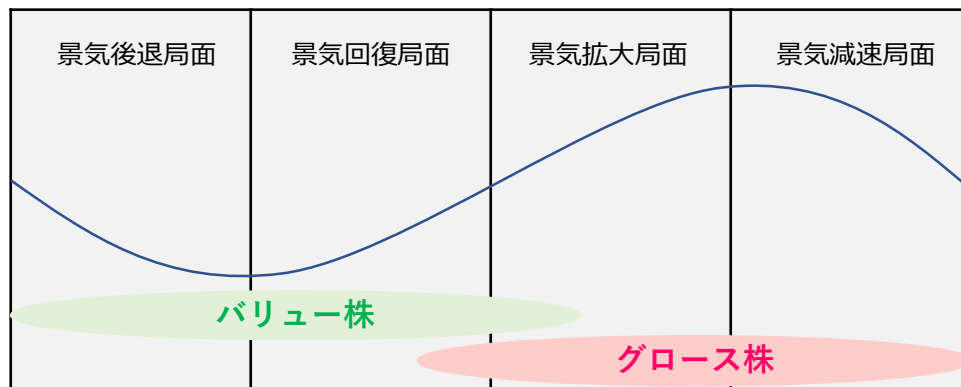
「TOPIXバリューの1年リターン - TOPIXグロースの1年リターン」の値が0より大きい場合はバリュー優位、0より小さい場合はグロース優位を表しています。

出所：ブルームバーグのデータもとにちばぎんアセットマネジメント作成

景気サイクルを通じた相互補完が期待される、バリュー株とグロース株

- バリュー株が優位な局面やグロース株が優位な局面は、景気サイクルによって入れ替わります。そのため、双方に分散投資することで、景気サイクルを通じた相互補完関係が期待できます。(図表2参照)

(図表2) 景気サイクルに応じた、バリュー株とグロース株の優位とされる局面



※図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

用語説明

*1 PBR
(株価純資産倍率)

企業の純資産に対する株価の水準が、割安か割高かを測る指標。
 $\text{株価} \div 1\text{株当たり純資産 (時価総額} \div \text{純資産)}$
 低いほど割安、高いほど割高。

基準となる目安
1倍

*2 PER
(株価収益率)

企業の利益に対する株価の水準が、割安か割高かを測る指標。
 $\text{株価} \div 1\text{株当たり純利益 (時価総額} \div \text{純利益)}$
 低いほど割安、高いほど割高。

過去の自社水準や
同業他社と比較

*3 EPS
(1株当たり純利益)

1株当たりの利益がどの程度かを示す指標。
 $\text{当期純利益} \div \text{発行済株式数}$
 数値が高いほど、企業の収益力が高い。

*4 株式益利回り
(%)

株価の割安性を測る指標。
 $1\text{株当たり純利益} \div \text{株価} \times 100$
 PERの逆数 ($1/\text{PER}$)。高いほど割安、低いほど割高。

※上記は一例であり、すべてを説明したものではありません。

【当資料に関する留意点】

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした上記日時における当社の意見です。投資に関する最終決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当社が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいてこの資料は作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当社が保証するものではありません。加えて、この資料に記載された当社の意見ならびに予測は、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 本資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。